

| | | |
|----------|-------|------------|
| 「工業技術実践」 | 単位数 | 4単位 |
| | 学科・学年 | 工業化学科・第3学年 |

1 学習の到達目標等

| | |
|------------|--|
| 学習の到達目標 | 年間を通して企業実習を行い、社会で通用するより高度なものづくりの専門的な技術・技能の習得を目指す。 企業人と対話することによって、コミュニケーション能力の育成に努め、職業観や勤労意欲の向上に努めさせる。 |
| 使用教科書・副教材等 | 自作テキスト |

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

| 学期 | 学習内容 | 月 | 学習のねらい | 考查範囲 |
|---------|--------|----|--|------|
| 1 学期 | 1 事前指導 | 4 | ・デュアルシステムの目的・目標を理解する。 ・希望する技術・技能の習得を行う。 ・マナー・コミュニケーションの大切さを理解する。 | |
| | | 5 | | |
| | 2 企業実習 | 6 | | |
| | | 7 | | |
| 2 学期 | 3 中間指導 | 8 | ・中間のまとめを行う。 ・希望する技術・技能の習得を行う。 ・マナー・コミュニケーションの大切さを理解する。 | |
| | | 9 | | |
| | 4 企業実習 | 10 | | |
| | | 11 | | |
| | | 12 | | |
| 3 学期 | 5 企業実習 | 1 | ・希望する技術・技能の習得を行う。 ・マナー・コミュニケーションの大切さを理解する。 ・1年間のまとめを行う。 | |
| | | 2 | | |
| | 6 事後指導 | 3 | | |

(2) 評価の観点及び内容

| | |
|---|--|
| 関心・意欲・態度 | ・産業現場実習の意義を理解し、意欲的に取り組んでいるか。 ・職業資格と進路選択の可能性との関連を理解し、積極的に取り組んでいるか。 |
| 思考・判断 | ・産業現場の状況に応じて、主体的に努力目標を立てることができるか。 ・作業において、創意工夫が見られるか。 |
| 技能・表現 | ・技術・技能の熟練度が向上しているか。 ・報告書が適切に作成できているか。 |
| 知識・理解 | ・デュアルシステムの目的・目標を理解し、的確に実践できたか。 ・職場において、マナー、コミュニケーションの大切さを理解できたか。 |
| ・上記の観点に基づいて評価する。企業の評価、自己評価、学習態度、体験活動状況、記録ノートなどの提出物、出席状況などを参考資料として、総合的に評価する。 | |

3 確かな学力を身につけるためのアドバイス

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・デュアルシステムの目的・目標を明確に把握して、企業実習を行う。 ・企業実習の中で、自分に不足しているものを見つける。 ・指導者の話をよく聞き、積極的に質問する。 |
|---|